

# 奥多摩むかし道から見る「廃線」

現在の青梅線は奥多摩駅が終着駅となっています。かつては、小河内ダム建設の工事用資材運搬のために、この奥多摩駅から先へも鉄道が伸びていました。

この鉄道は昭和27(1952)年11月に完成し、昭和32(1957)年5月までの間、総輸送量は約97万トン(10トンダンプ97,000台分)という膨大な量の資材を運搬していました。

距離は6.7kmあり、急峻な山間部を通る路線のため、23のトンネルと23の橋が架かっていました。橋の総延長1,121m、トンネルの総延長が2,285m、区間の約半分が橋とトンネルという路線でした。

**①** トンネル(第三氷川T、第四氷川T)・橋桁(第三弁天B、第二弁天B、第三氷川B)・線路など様々な遺構がよく確認できる区間。見ごたえあり。(おすすめ!)

**②③④** 道路の一段上、B~Dの短い橋桁(第二小留浦B、第三小留浦B、第四小留浦B)が連続しています。

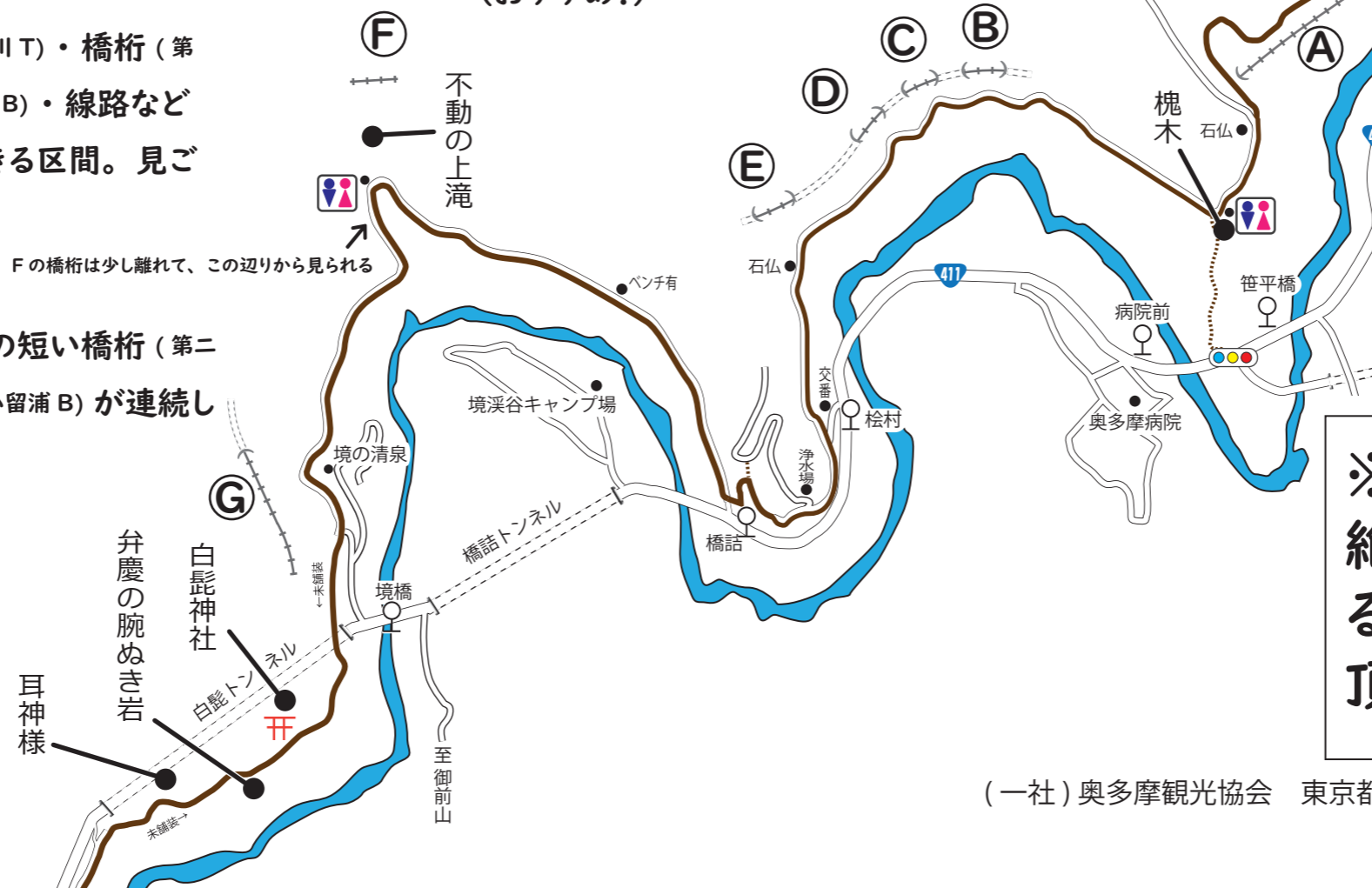
裏面へ続く



**⑤** 道路から奥まった場所に橋桁や橋脚(第五小留浦B)があり、草の伸びた夏に確認するのは難しい。

**⑥** 「不動の上滝」の上部に僅かに橋桁(第二境B)を望めます。

**⑦** 境の集落に覆いかぶさるような立派な鉄橋(第四境B)を見ることができます。(おすすめ!)



むかし道とは別方向だが、アーチ型の美しい橋脚(日原川B)が残る。奥多摩駅より徒歩7分。

**コース概要**  
 奥多摩駅 ~ 奥多摩湖  
 距離: 10.1km  
 歩行時間: 3時間30分  
 所要時間: 4時間00分  
 ※歩行時間は概ね50~60m / 1分

※廃線は私有地です。絶対に立ち入らず、眺めるだけの見学にとどめて頂くようお願いいたします。

# 奥多摩むかし道から見る「廃線」

## コース概要

奥多摩駅～奥多摩湖  
距離：10.1km 所要時間：4時間

①

白髭トンネルの上方、橋桁と橋脚（梅久保B）を見ることができます。冬季は見ごたえ充分です。

②

青梅街道のすぐ上、橋脚（第一水根B）やトンネル（中山T）を見ることができます。小河内ダムの余水吐と併せて見学するのがおすすめです。

③

青梅街道を跨ぐこの鉄橋（第二水根B）とトンネル（水根T）はよく目立ちます。その後ほどなく終点の水根駅跡となり、現在は資材置き場になっています。

むかし道とは別方向だが、桃ヶ沢バス停の上方に橋桁と橋脚（桃ヶ沢B）・トンネル（第一桃ヶ沢T）の3つを同時に見ることができます。冬季以外、ほとんど樹木に隠れてしまいます。

※廃線は私有地です。  
絶対に立ち入らず、眺める  
だけの見学にとどめて頂くよ  
うお願いします。

△裏面へ続く▽

